

園名（ 比延こども園 ）

【各園の特色や今年度、園として頑張りたいところ】

- リズム体操を全学年で行っている。リズム体操のパンフレットも手作りしている。
- 行事等は、その日のうちに写真入りの通信を発行している。（主幹作成）
- 自然、地域を大切にしたい。
- いろいろな人や季節のものに関わり、触れ合う中で学ぶことも多いと考える。
- 十分遊びきってほしいと考えている。
- 泥んこ遊び（田植え前の田んぼで遊ぶ経験）や、ツマグロヒョウモン、メダカ、金魚等（地域からいただいたものもある）の飼育を通して日頃から自然や地域とつながっている。

	担当委員より
<p style="text-align: center;">教育 ・ 保育内容</p>	<p>保育の内容や子どもたちの様子について、大がかりなドキュメンテーションを作成し、それを活用しながら保護者や地域に伝えている点から、昨年に引き続き、日々努力を重ねていることがうかがえる。</p> <p>職員同士の協力体制はもちろんのこと、保護者や地域との連携も密に図られており、子どもたちの育ちを一丸となって支えている様子は本園の強みである。</p> <p>0～2歳児では、自由に遊ぶことができる環境の中で子どもたちの微細運動の発達に着目し、手作り玩具等を用いて、遊びを通して育ちを促すことをねらいとした保育が実施されている。体力づくりの取組についても、保育者が課題意識をもって遊びを考えようとしている様子が見られる。</p> <p>3～5歳児では、子どもとの関わりはもちろんのこと保育環境の細部にまで行き届いた、きめ細やかな配慮がなされている。子どもが遊びを通して学ぶことを大切にし、保育者が一方的にねらいを立てて進める保育ではなく、ねらいを子どもに伝えながら共に進めていく、双方向の保育が実践されているクラスもあった。その保育は単に子どもに考えさせるだけでなく、子どもから出てくる発言までも見通した保育者の明確なねらいが感じられそこに保育への深い思いと広がりを感じ取ることができる。</p> <p>今後は、これまで以上に園全体で一人一人の子どもの0～5歳までの育ちを見通し、保育者それぞれの強みを生かした保育にとどまらず、年度ごとに異なる子どもた</p>

	<p>ちの姿を踏まえ、その年の子どもに必要な遊びを考え、遊びにより一層の深まりが生まれるよう、引き続き努力していただきたい。</p>
<p>教育課程の編成</p>	<p>造形活動や体験活動など、ダイナミックな制作の様子をドキュメンテーションを通して知ることができる。先生方は、子どもたちが「やってみよう」と思ったことに挑戦できるよう、様々な工夫をされている。このまま継続していただきたい。</p>
<p>安全管理 ・ 防災教育</p>	<p>毎月の安全点検、避難訓練が適切に実施されている。引き続き子どもたちが安全に過ごせる場所を維持していただきたい。</p>
<p>家庭 ・ 地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドキュメンテーションや掲示物は、保護者や地域への発信として大切にされている。</li> <li>・子どもが健やかに育つよう、保護者と保育者が日々の生活の様子を伝え合い、行事等については、通信等を通して発信することで、保護者の安心につながっている。</li> <li>・さまざまな発信により、保護者が保育に関心を持つことができ、保護者と相互に子どもの様子について話し合える関係性が築かれている。</li> </ul>
<p>職員の 資質の向上</p>	<p>研修計画表が作成されていることは、特筆すべき点である。多くの研修に参加することで、子どもの保育に関わる人員配置等の面で大変なこともあると思われるが、研修の機会を適切に捉えて参加している点は、今後も継続していただきたい。</p>
<p>食育 ・ アレルギー対応</p>	<p>子どもに関わる園全体の職員同士の連携を図り、食の安全に関する取組もなされている。引き続き継続していただきたい。</p>
<p>関係者評価の 取組</p>	<p>すべての意見に目を通し、それぞれの意見を受け止めた上で、実現可能な要望については改善に向けた取組がなされている。また、様々な意見に対しても、可能な限り改善を図ろうとする姿勢が見られる。引き続き継続していただきたい。</p>